

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	中澤 淳
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3531
事務事業名	4215 交通安全施設整備事業						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	03021500 交通安全対策の推進						
予 算	会計	01 一般会計					
科 目	科目	080204 土木費・道路橋梁費・交通安全施設費					
事 業	事業	010000 交通安全施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
交通安全対策の充実のため交通安全施設の整備を行う。				交通安全施設整備として道路反射鏡、防護柵、区画線、道路標識の新設及び更新を順次進める。市民の交通安全への関心が高く、安全施設に対する要望は多い。万一の事故発生を未然に防ぐため道路管理者の責任を果たす役割は大きい。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置、ゾーン30	道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置、ゾーン30
平成29年度 実績	平成30年度 実績
道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置、ゾーン30	道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置	道路反射鏡、道路標識、防護柵、区画線の設置

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		9,775	10,123
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		9,775	10,123
人員数(人)	正規職員	0.6	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,290.0	2,145.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,290.0	2,145.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.2
総額		14,065.0	12,268.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	3,791	修繕料3,791
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	5,893	交通安全施設整備工事5,893
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	91	安全用品 規制用品原材料91

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	4,000	修繕料4,000
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	5,900	交通安全施設整備工事5,900
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	223	手数料90 補修用材料費100 等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	道路管理者として、交通安全確保のため事業は必要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	各町からの要望(カーブミラー等)に早く応えるようにしている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	昨年同様、各町の要望箇所を確認し、必要か否かを判断している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
各町の要望に出来る限り応えたい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
交通事故の未然防止・被害軽減のために必要な事業であり、市民からの要望も多い。		安心、安全な交通環境の整備に向け、必要な事業である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	